

◆日本共産党は今年創立104年。暮らし・平和・人権 国民のためにブレずにはたります。

休日当番病・医院

8月2日(日)

- ◆内科 夜間・休日急病センター 旭町 32-0099
- ◆外科 こうよう泌尿器科 光洋町 82-8620
- ◆歯科 齊藤歯科医院 弥生町 72-5628

療時間：内科＝9時～翌朝7時、外科＝9時～17時、歯科＝9時～12時。本紙は毎週火曜日に編集のため、その後に休日当番医が変更になってもお知らせすることはできません。ご利用されるときには、あらかじめ電話でお確かめください。



法律相談



8月26日(水)

遠藤正大弁護士

(定員になり次第締め切ります)
日本共産党苦小牧地区委員会
苦小牧市見山町2-2-6 申込 56-5002

しんぶん赤旗読者のための
親身な相談で定評

日本共産党 民主苦小牧

発行 日本共産党苦小牧地区委員会

苦小牧市見山町2丁目2番6号 電話 56-5002 fax 56-5086
日本共産党のホームページ <http://www.jcp.or.jp>
日本共産党市議会ホームページ <http://jcp-tomakomai-shigidan.com/>
eメールアドレス commun@rose.ocn.ne.jp

生活保護全額補償求め 不服審査闘おう

保護費追加給付で学習会

室井氏解説 国民をバカにしてる



害額の約半分にとどめ、裁判の原告には10万円の「特別給付」を出し、原告以外のひとと格差を設けました。

室井会長は、「利用者には半額しか出さず、原告には10万円を加算するという。現在生保を利用していない人は自分で申請しなければ給付を受けられません。国民をバカにしています」と批判しました。

自民党は当時、生保基準を1割下げると選挙公約し、生活保護を利用することにバッシングし、生保を受けることが恥であるかのような世論をつくりました。生活保護基準は、社会保障施策の年金、医療介護保険、労災保険、最低賃金など47施策に連動しています。

室井会長は、「政府は、1円上げると、生保だけでなく連動する施策に大変な予算を計上しなければならぬ。そのため、利用者を悪く言うのはそこに意図があるからです」と指摘。「生活保護制度は、憲法25条が保障する、最低限度の生活を下回る水準に陥ったときに不足分を扶助する制度であり、困ったときに救済される私たち国民の制度であり権利です」と強調しました。

苦小牧生活と健康を守る会の室井光雄会長が、最高裁判決の意義と保護費の追加給付や、政府の社会保障政策と保護行政について解説しました。

国は、謝罪もせず、追加給付を判決後1年も経ってから実施。しかもその補償額は被

た。

さらに、生健会では全額補償を求めて、不服審査「新・人間裁判」をたたかいます。

「原告になる人は相当な覚悟が必要で、並大抵のことではありません。どう立ち向かうか、わが事のように受けとめてほしい」と呼びかけました。

小野寺委員長(苦小牧市議)は、開会に当たり、「生活保護の問題は、利用者だけの問題ではなく、私たちの問題で減額され、裁判をたたかいた、みなさんのがんばりの成果です。」と強調しました。

学習会の中で疑問や感想が交わされ、支給が半分になった理由などが出されました。

オスプレイ来るな 商業港守れ

市民団体

搭載艦苦小西港入港に抗議

「戦争法廃止！苦小牧実行委員会」(実行委員長 横山)



支給額は少なく、生活保護をやめた人は申請しなければなりません。理不尽の上ありません。今日の学びをたたかいの力にしましょう」とあいさつしました。

司会を務めた顧問の畠山忠弘元苦小牧市議は、「安倍自民党のマニフェストは10%引き下げるとし、バッシングしながら選挙をしました。国民は、これを真に受けて、自民党に政権を取り戻させました。当時自民党の方針を立てたのは政調会長であった高市早苗現首相です。生保をもらうのはずるいと言った、血も涙もない鬼みたいな人です。これからがたたかいです」と強調しました。

学習会の中で疑問や感想が交わされ、支給が半分になった理由などが出されました。

「戦争法廃止！苦小牧実行委員会」(実行委員長 横山)は7月25日朝、オスプレイを搭載した護衛艦「いせ」の入港を強行した苦小牧西港で、抗議行動を繰り広げました。

護衛艦「いせ」は、10月26日の間、道内の各港に寄港し、広報や訓練を行っています。10、11の両日は釧路港へ。16日から3日間は石狩湾新港に停泊させ、そこから飛び立つオスプレイが札幌市東区の

核兵器禁止条約の批准を
大軍拡反対！
外交で平和を
日本共産党

丘珠駐屯地(空港)に飛来する共同訓練が行われました。25日からの2日間は苦小牧西港に入港し、市民向けに一般公開する予定で、2機のオスプレイが搭載されてきました。

抗議の参加者らは、「オスプレイは来るな！ 苦小牧港の軍港化反対！ 欠陥機オスプレイは帰れ！ 平和な商業港を守れ！ 平和憲法を守れ！」と抗議の声をあげました。

横山実行委員長は、軍用機が訓練の一環で市街地上空を飛ぶことは、先進国では認められていないなか、日本の軍用機訓練に対する規制のゆるさは異常だと指摘。市民に公開し、親しみを得ようとしていると厳しく批判しました。

日本共産党苦小牧市議団の富岡隆、原啓司、森本健太の3議員も参加。森本議員は、苦小牧港は特定利用港湾に指定されているとし、「戦争はある日、突然始まるのではありません。今回は訓練だから『港を使うぐらいだから』

と思っていれば積み重ねられて、気がついたときには戦争に協力する体制ができあがってしまう。今、だからこそ反対の声をあげることが大切です」と呼びかけました。

非核三原則堅持表明求める

田村委員長

首相に核廃絶へ行動要求



の7割以上が条約6条に基づいて核軍備縮小・撤廃の約束を守るような核保有国に迫ったと紹介。「唯一の戦争被爆国の首相として、この流れに立つて核軍備縮小・撤廃へ具体的な行動を起こす時です」と求めました。

衆院予算委員会で日本共産党の田村智子議員は7月27日、高市政権が安保3文書改定に向け「非核三原則見直し」への動きを見せるもとで、「非核三原則を今後も堅持する」と表明するべきだと高市首相に迫りました。高市首相は、安保3文書改定で非核三原則をどうするかは、「予断することとを差し控える」と答弁し、「堅持する」とは最後まで表明しませんでした。

田村委員は、核兵器による威嚇や核軍拡競争が強まるなか、グテレス国連事務局長が「数十年間で最も核使用の脅威が高まっている」「今すぐ行動を」と呼びかけ、今年の核不拡散条約(NPT)再検討会議では、加盟191カ国

の7割以上が条約6条に基づいて核軍備縮小・撤廃の約束を守るような核保有国に迫ったと紹介。「唯一の戦争被爆国の首相として、この流れに立つて核軍備縮小・撤廃へ具体的な行動を起こす時です」と求めました。

赤旗日刊紙を友として

購読をお勧めします

「憲法9条改悪に反対する請願署名」に「協力をお願いします」。

批判し、「核軍拡競争に被爆国が手を貸すことになる」「核抑止とは、いざとなれば核兵器を使うという、恐怖を与えることだ。恐怖対恐怖では軍事的緊張が高まり、抑止が破られた時には核戦争になり、日本を核の戦場にすする危険がある」と強調しました。昨年の広島平和記念式典で、核抑止を批判した広島県

日本国憲法と私たちの未来

8月15日

川原教授が出前授業

市内の宗教者や労働組合などの団体が参加する「思想と信教の自由を守る苦小牧市民会議」(丸徹代表)は、今月15日の終戦記念日に、反戦平和集会を開きます。紀元節復活に抗議して建国記念日とともに毎年続けてきており59年目になります。

「日本国憲法と私たちの未来」と題して、札幌学院大の川原茂雄教授を迎えた憲法出前授業です。

高市首相が中心となつて進めている改憲は、憲法の何を变えようとしているのか。何のために改憲にこだわるのか。

改憲作業が強引に進められる中、そもそも憲法はどのようなものなのか、私たちの権利と生活を守る上でどんな役割を果たしてきたのか。憲法を守り生かすためには、より

生業と暮らしを守るために

消費税減税
インボイス廃止
日本共産党

知事のあいさつも紹介し、「立場の違いを超えて、非核三原則の見直しを許さず、核兵器禁止条約への参加を求めたい」と迫りました。

多くの人たちに届く言葉で対話を進めていかなければなりません。これからの運動を進める視点を一つしよに考えていきたいと思います。

★

市民会議では、みなさんの参加を呼びかけています。

▼8月15日(土)午後2時
アイビープラザ講習室

▼参加無料

▼問合せ 丸さん
電話32・4509

ほんの紹介

◆Z世代は戦後初めて銃をとる世代になるかもしれない

丹羽宇一郎著(東洋経済) 1980円(税込) 現在の私たちの行く手には暗黒の世界が広がる。しかし闇の中の唯一の光は、若いみなさんです。希望を託す遺作です。



「人間展示」ひどいー
アイヌ民族権利回復へ

こんにちは
小野寺ゆきえです

2019年にアイヌ民族を「先住民」と明記したアイヌ新法がつくられました。アイヌの権利は認められず、尊厳は回復していません。

私は先日、ウポポイで開催されている「アイヌ民族と博覧会」という特別展を視察しました。昨年大阪万博に至る約150年のアイヌ民族と博覧会を追う企画です。

特別展でまず目に飛び込んできたのは「人間展示」という文字です。日本で最初に「人間展示」を行ったのは1903年に行われた「内国勧業博覧会」で、人類学者である坪井正五郎教授の監修です。客を呼び込む「見世物」の位置づけだったと記しています。場外余興として「人類学術館」を建設し、アイヌ民族だけでは



なく、沖縄、台湾、朝鮮、清国、インド、ジャワ、アフリカなど32人を生活させ、観覧させました。「日本の植民地主義を正当化する差別的な眼差しを批判しなければならぬ」とも記されています。